

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2010年10~12月期見通し)

～第41回おきぎん企業動向調査(2010年7~9月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

業況DIの推移

期間・結果 項目	2009年				2010年							
	7-9月期		10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期(見通し)	
	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比
全業種計	△ 4.7	+	△ 5.6	-	0.2	+	△ 3.2	-	6.8	+	20.3	+
製造業	8.5	+	△ 5.1	-	△ 7.7	-	△ 23.0	-	0.0	+	33.3	+
土木業	0.0	+	22.5	+	9.5	-	△ 12.8	-	△ 32.1	-	35.7	+
建築業	△ 1.5	+	0.0	+	5.0	+	△ 5.6	-	5.5	+	25.5	+
卸売業	△ 17.0	+	△ 13.4	+	△ 5.6	+	△ 16.1	-	△ 11.8	+	12.9	+
小売業	△ 8.3	+	△ 5.5	+	0.0	+	6.9	+	25.7	+	18.9	-
情報通信サービス業	0.0	+	△ 16.7	-	36.4	+	25.0	-	30.8	+	30.8	+
医療・福祉	43.8	+	38.9	-	28.6	-	30.6	+	29.0	-	32.3	+
其他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 10.0	+	△ 4.8	+	△ 13.2	-	6.3	+	22.9	+	12.5	-
其他(不動産、運輸等)	△ 7.1	+	△ 21.3	-	△ 1.0	+	△ 3.2	-	5.6	+	12.2	+

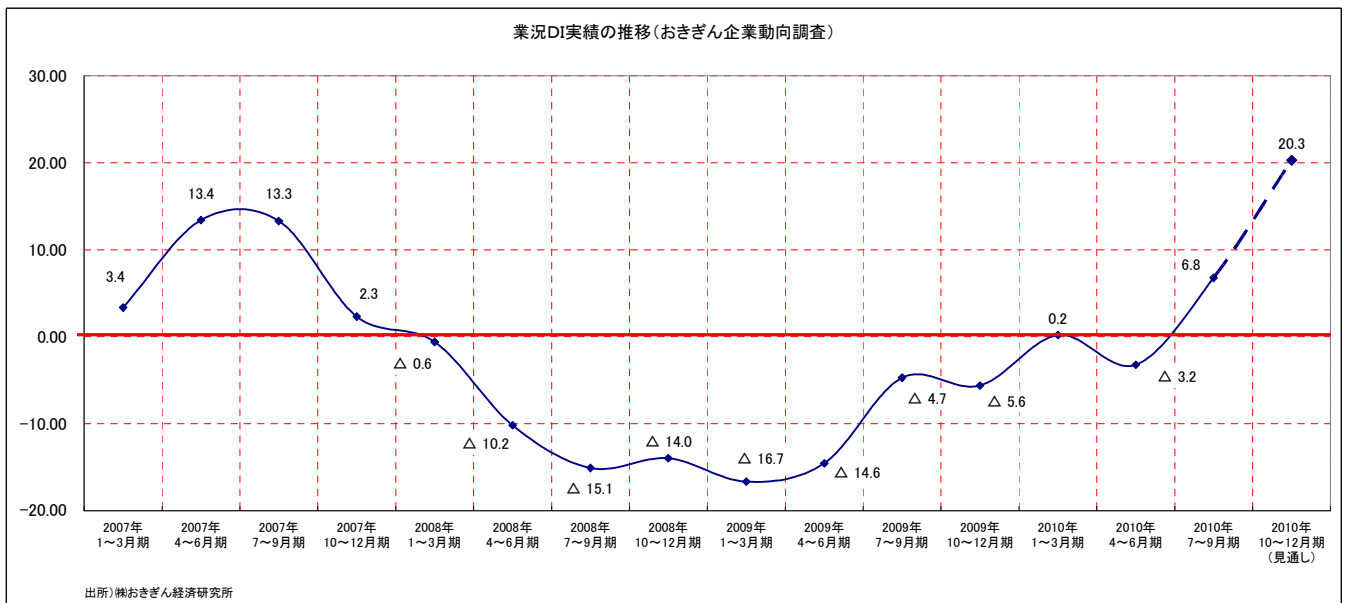
注)プラスマイナスの符号は、前期比で比較

※今回調査

2010年7~9月期調査の業況DIは6.8となり、前期の△3.2から改善となりました。

業種別でみると、建築業、小売業、情報通信サービス業、医療・福祉、其他サービス業、其他で業況改善の動きが見られます。一方で土木業、卸売業において業況の弱さが見られます。製造業は好転・悪化が入り混じる結果となりました。

2010年10~12月期の業況見通しDIについては20.3となり、多くの業種において、業況の改善が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2010年8月下旬～9月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 472社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

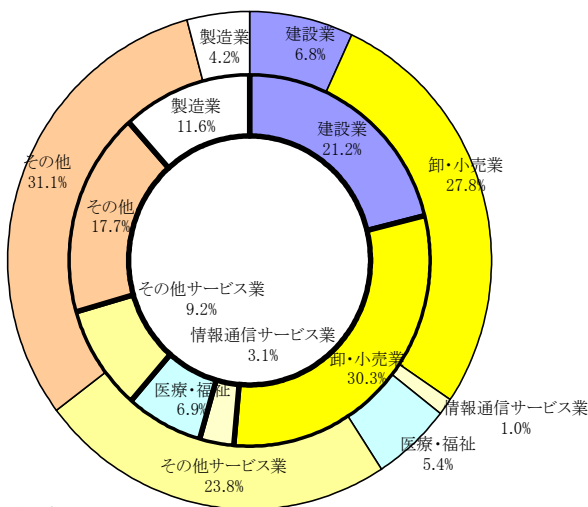
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

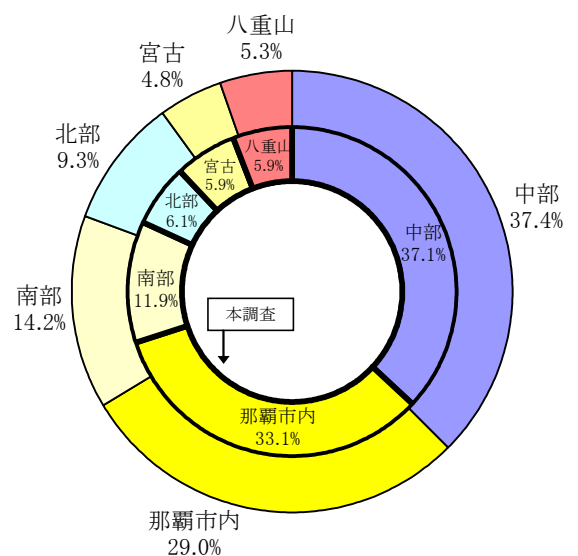
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料) 総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



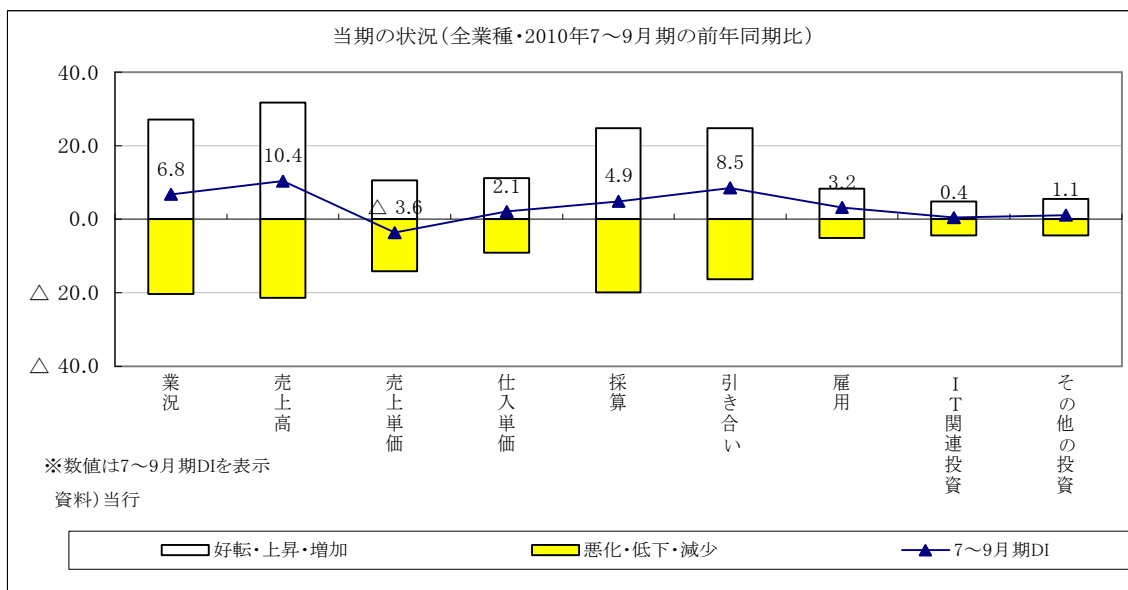
資料) 総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

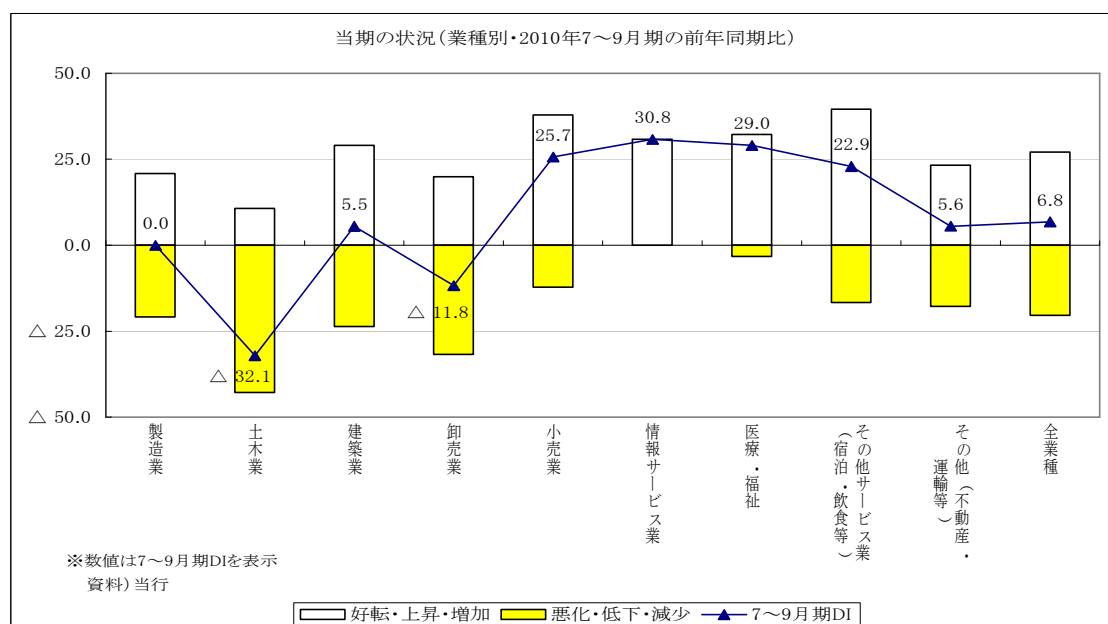
a. ①当期の状況(項目別・2010年7～9月期の前年同期比)

実線で示している当期のDIを見ると、高校総体開催などから観光客数が増加し、宿泊施設、飲食・土産店などで引き合いが増加しました。また、エコカー補助金の終了やタバコ値上げ前の駆け込み需要なども寄与しました。一方、各業種において、売上単価は厳しい状況が続いています。全体として**業況改善の動き**が見られます。



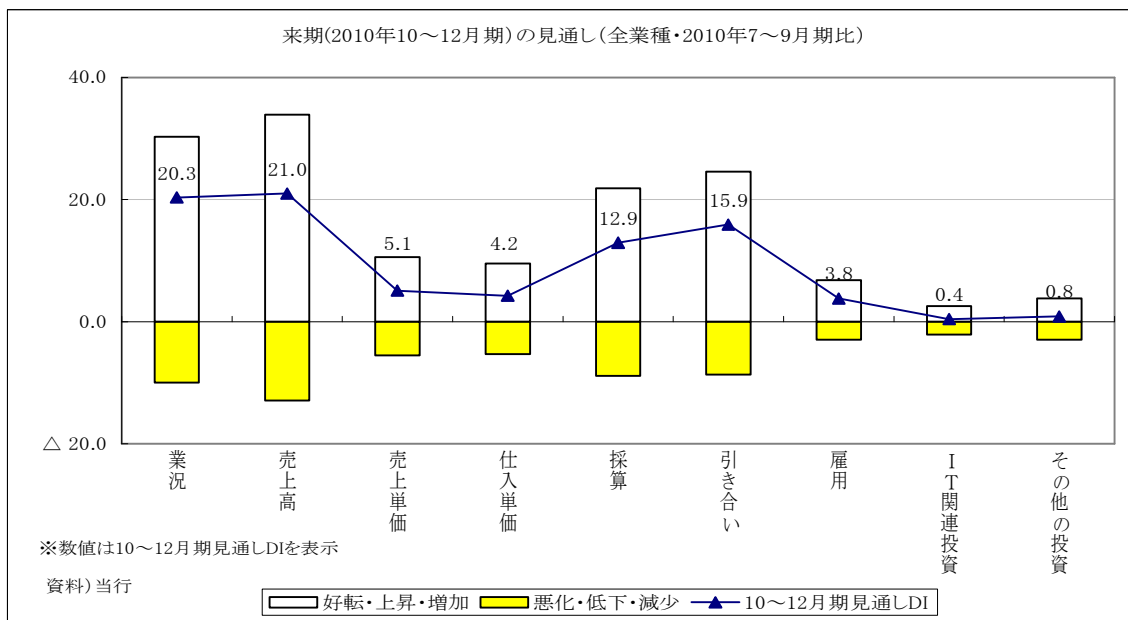
a. ②当期の状況(業種別・2010年7～9月期の前年同期比)

当期の状況を業種別に見た場合、公共工事の減少から、建設関連の製造業や土木業において業況が悪化しました。一方、建築業は民間工事等で持ち直しの動きが見られます。卸売業は売上単価や引き合いの伸び悩みから建設関連以外にも**業況の弱さ**が見られます。医療・福祉は好調を維持し、小売業やその他サービス業等は観光客の増加などから、**業況改善の動き**が見られます。



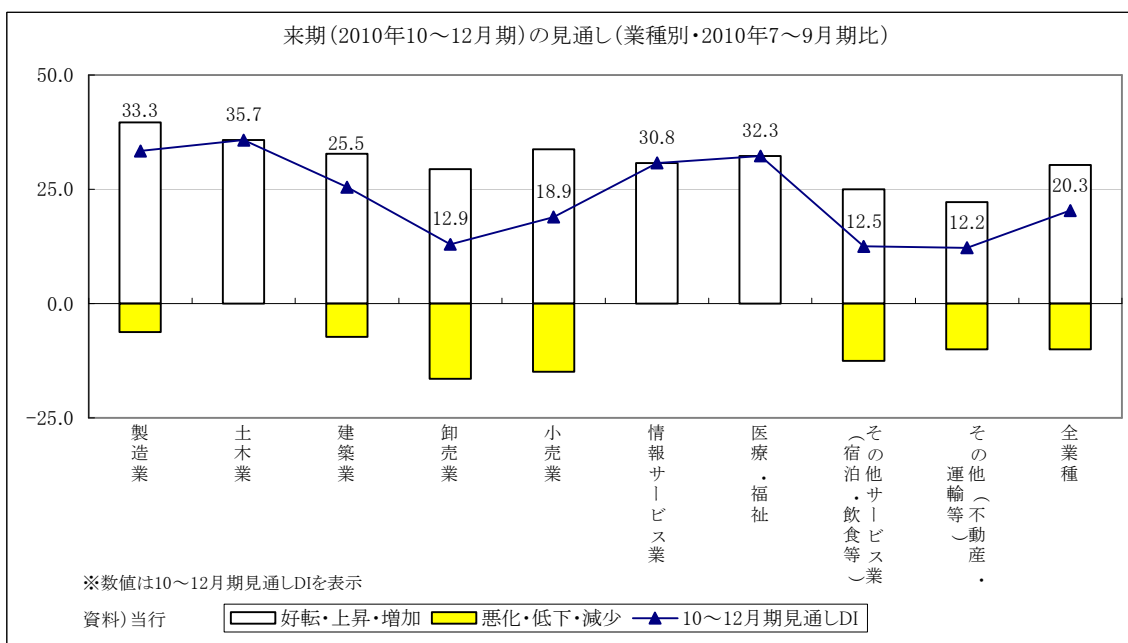
b.①来期の見通し(項目別・2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

来期(2010年10～12月期)の見通しDIを見ると、公共工事の増加やクリスマス・年末商戦などの季節的要因から、売上高(21.0)、引き合い(15.9)、採算(12.9)において好転の見込みとなります。雇用(3.8)やその他の投資(0.8)なども増加を見込みます。全体としての見通しDIは業況改善の動きとなっています。



b.②来期の見通し(業種別・2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

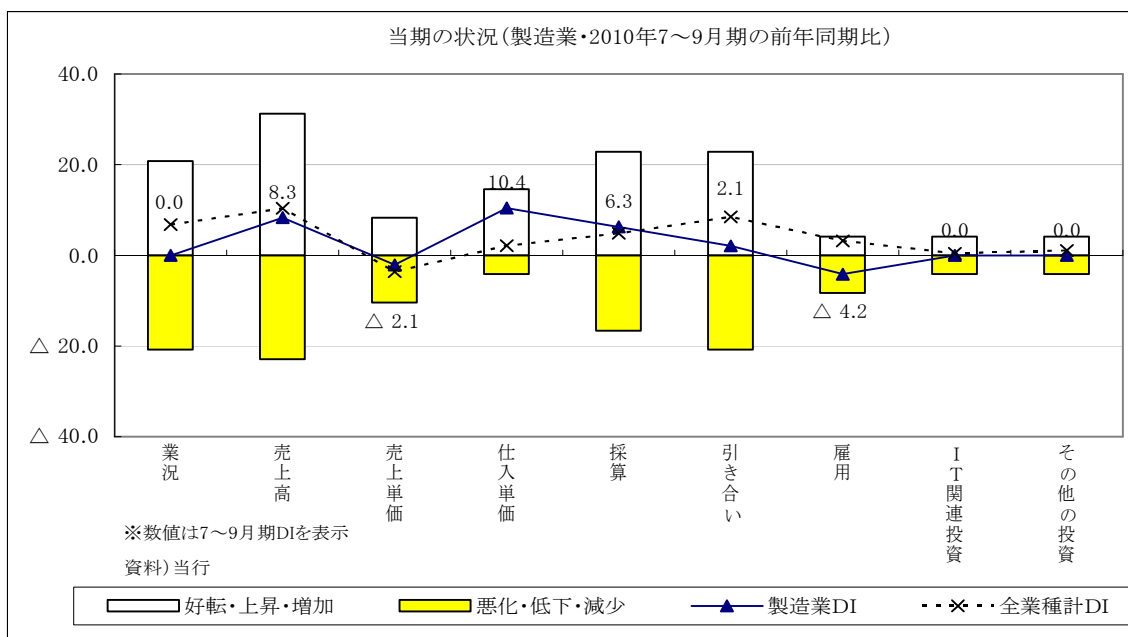
来期(2010年10～12月期)の見通しDIを業種別に見ると、上記の通り、公共工事・民間工事の増加や年末商戦の時期などから、製造業(33.3)、土木業(35.7)、建築業(25.5)を中心に各業種において業況改善の動きが見込まれます。



2. 製造業

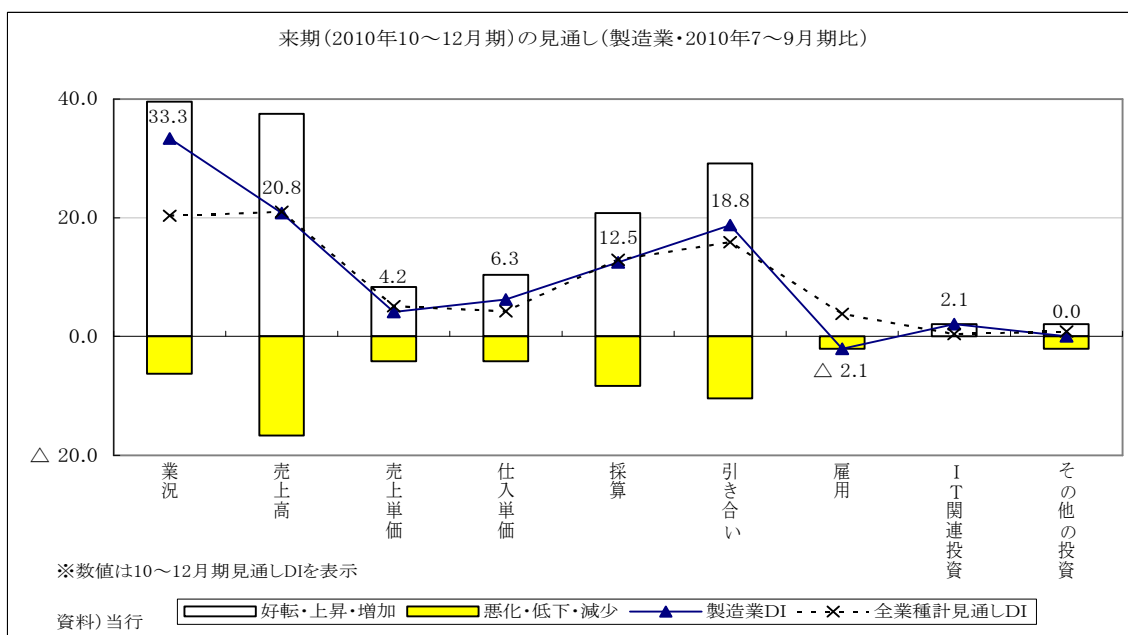
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

製造業DIを見ると、夏場の観光需要を中心として食品関連で業況改善の動きとなる一方で、建設関連や泡盛製造業などで弱さが見られます。売上単価(△2.1)は依然として伸び悩むものの経費削減努力から採算(6.3)は改善されています。野菜価格の高騰などから仕入単価は上昇しています。製造業全体として業況は横ばいとなっています。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

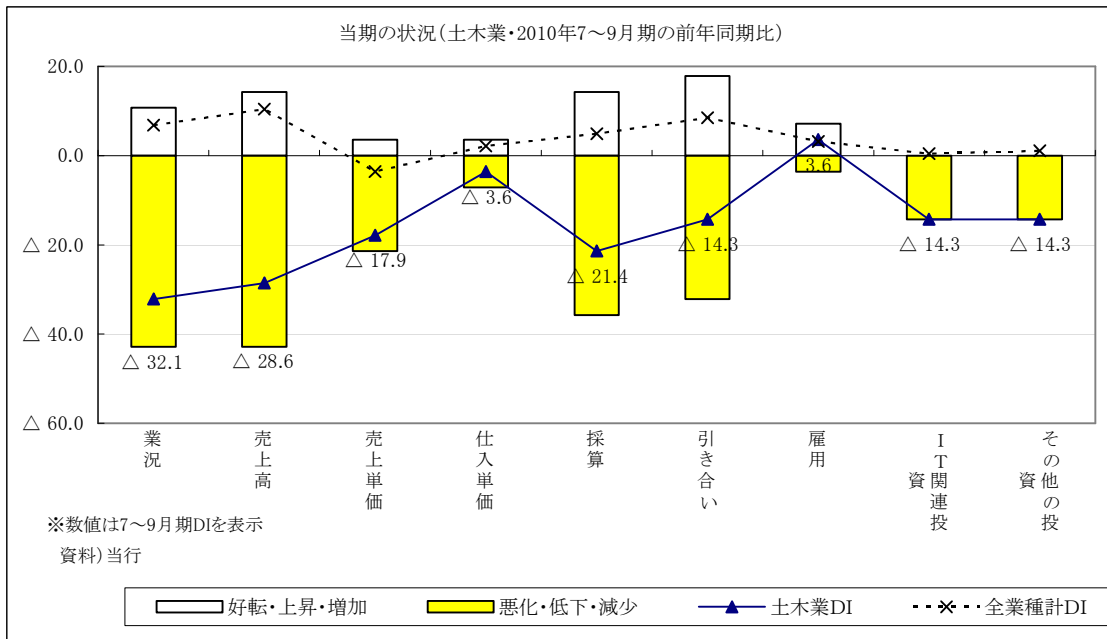
来期の見通しを見ると、観光需要の減少が予想される一方で、年末商戦や民間・公共工事の増加など、食品関連・建設関連ともに引き合い(18.8)増加することが見込まれています。売上高(20.8)、採算(12.5)などにおいて改善の動きが見られるものの、雇用(△2.1)については厳しい見通しとなり、経費削減の傾向は続きます。製造業全体として業況改善の動きが見られます。



3. 土木業

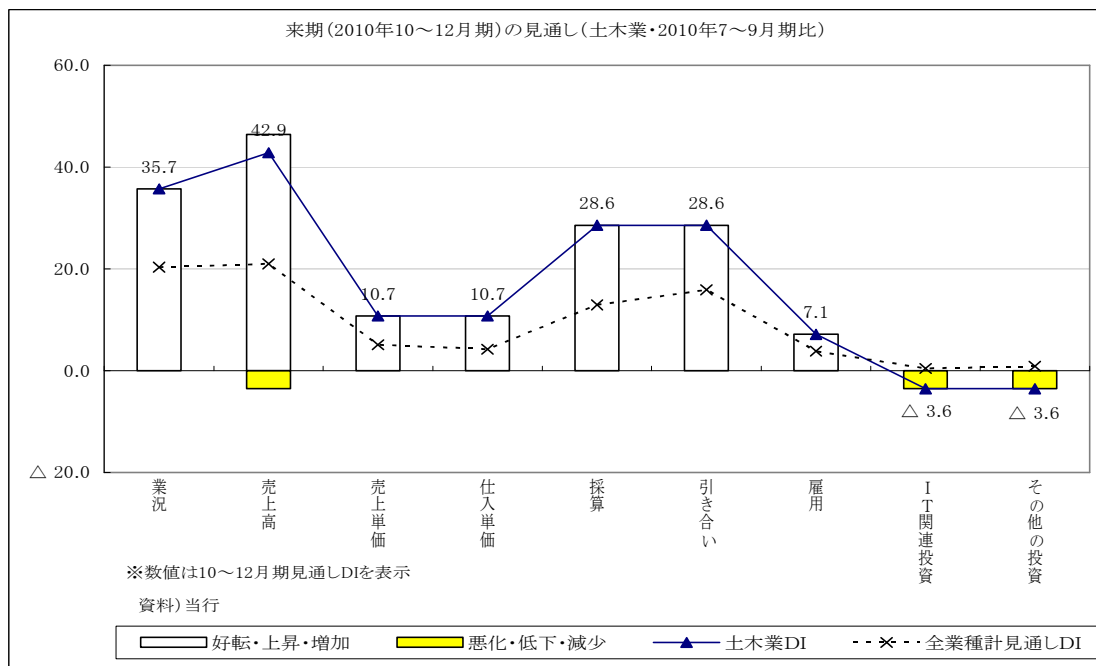
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

土木業DIを見ると、一部においては受注が安定的に確保されているものの業界全体として公共工事の減少が続き、業況(△32.1)、売上高(△28.6)、採算(△21.4)、引き合い(△14.3)と各項目とも悪化となっています。資金繰りについても厳しい状況が続きますが、現場経費の徹底管理などの他、借入金の条件変更等により対応しています。土木業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

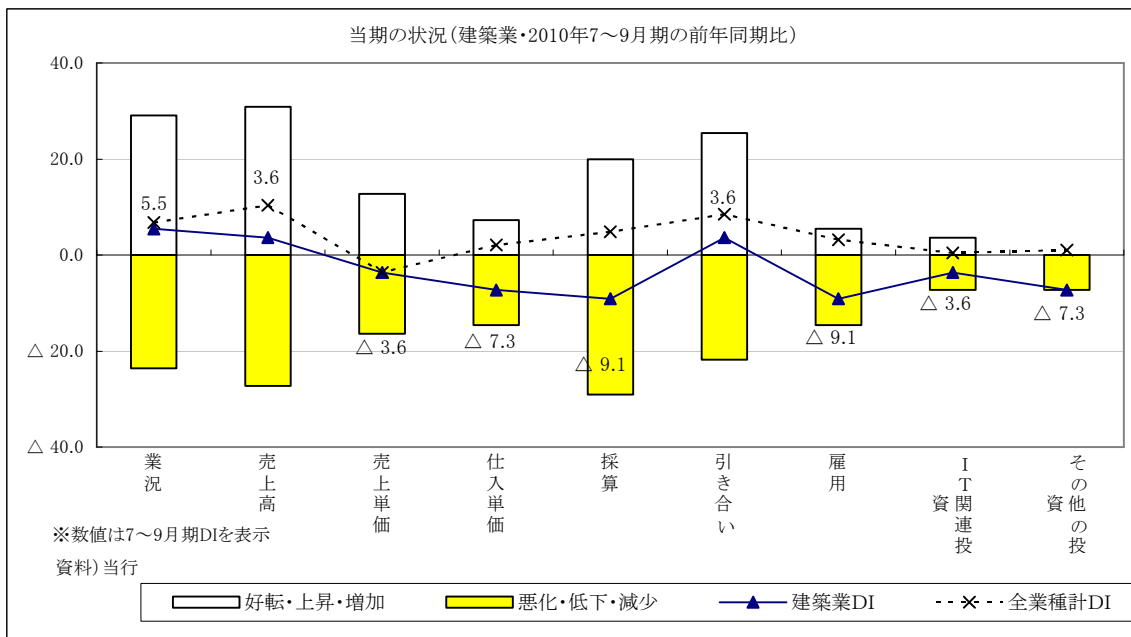
来期の見通し土木業DIを見ると、受注環境について厳しい競争が続くという見通しは変わらないものの、年度後半は公共工事が増加する時期であり、当期(7～9月期)と比較すると各項目とも好転するものと見込まれています。土木業全体として**業況改善の動き**が見られます。



4. 建築業

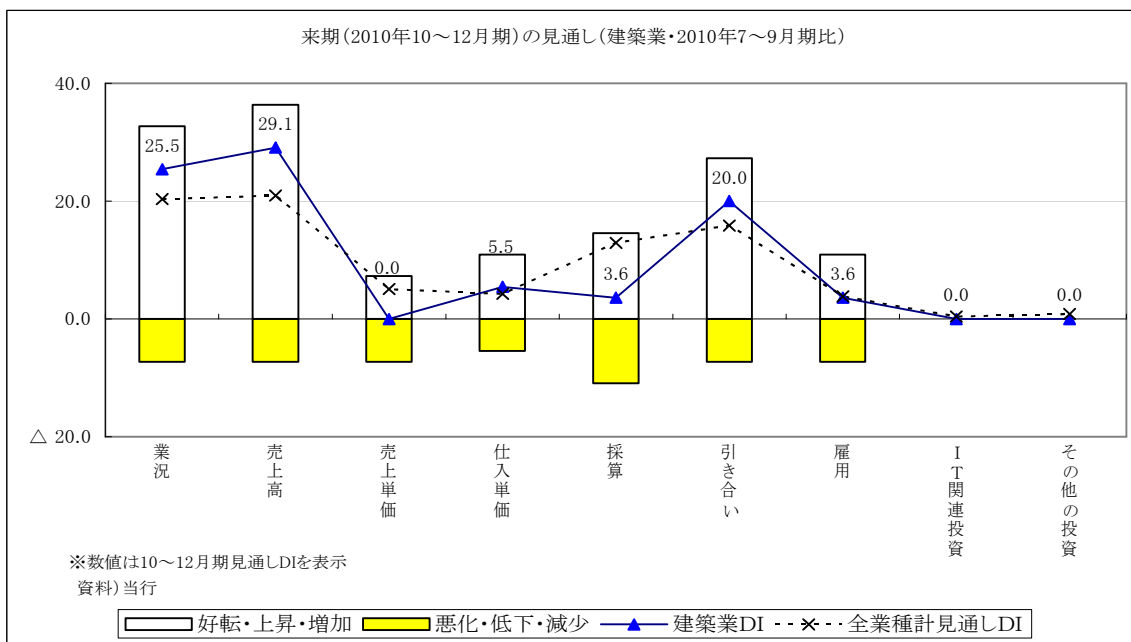
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

建築業 DI を見ると、受注環境は依然として厳しく、採算(△9.1)、雇用(△9.1)ともに改善には至りません。しかし、アパートやマンション、個人住宅など民間工事は昨年と比較すると徐々に引き合いは増加しており、持ち直し感が見られます。また、猛暑による空調関連工事も増加しています。建築業全体として業況改善の動きが見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

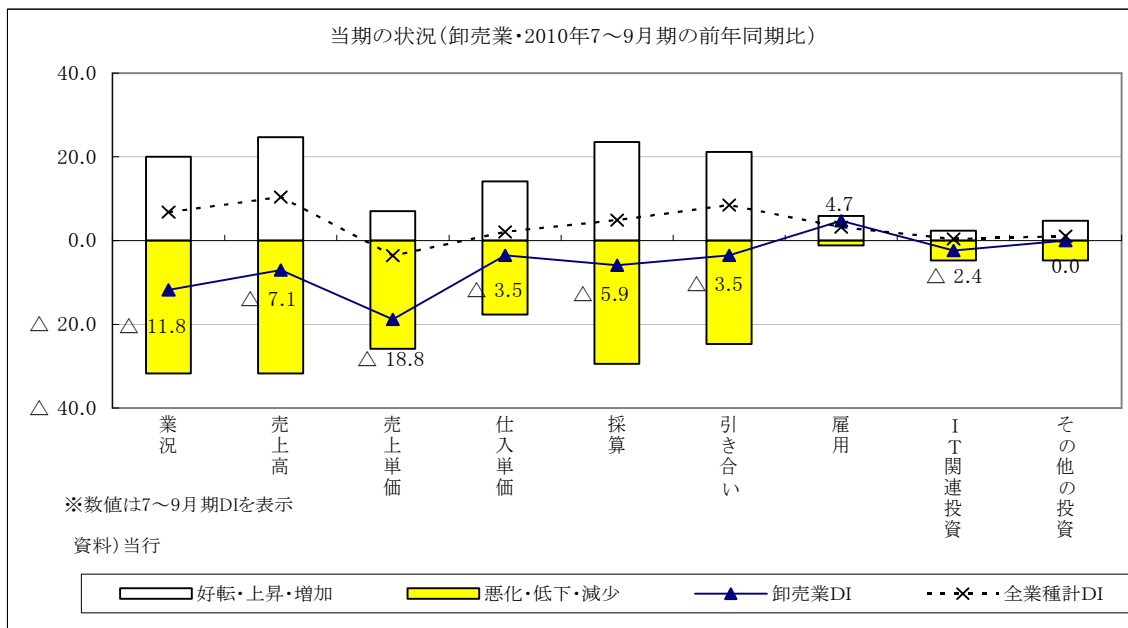
来期の見通し建築業 DI を見ると、アパートなどの民間需要が増加傾向にあるなか、土木業同様、公共工事が増加する時期であり引き合い(20.0)は増加し、売上高(29.1)は好転する見通しです。また仕入時期の工夫や現場経費の管理徹底から採算(3.6)も改善を見込みます。建築業全体として業況改善の動きが見られます。



5. 卸売業

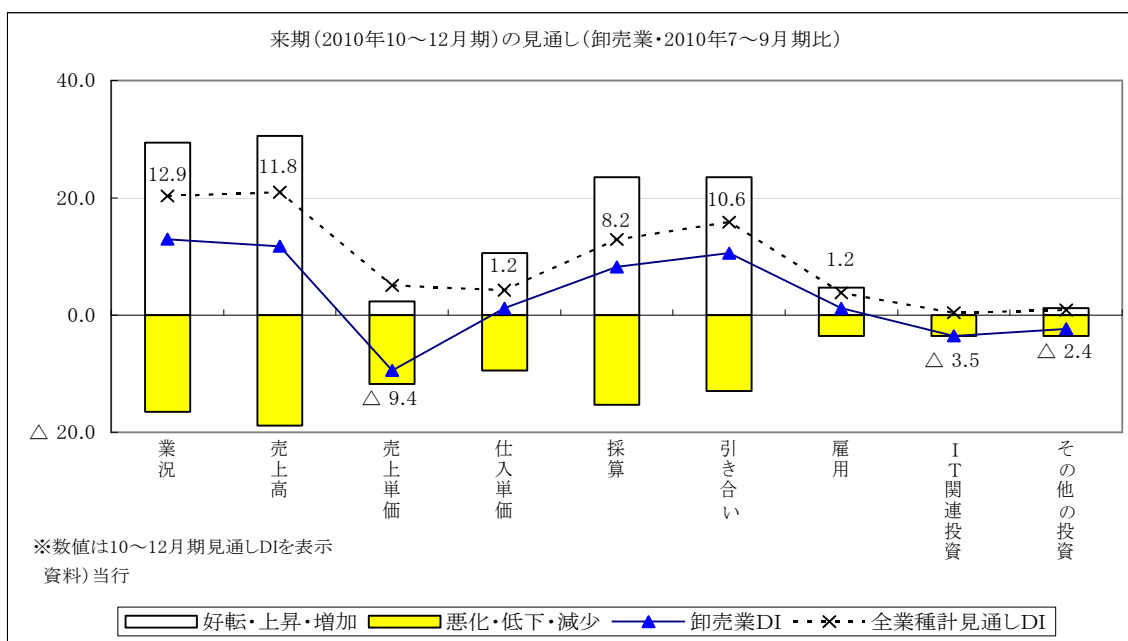
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

卸売業 DI を見ると、高校総体開催などの特殊要因や円高による仕入環境の改善などから一部において好調を維持するものの、建設需要の減少や消費の低迷などから、広範囲の業界において厳しさが続いています。特に販売先からの価格交渉など売上単価(△18.8)は厳しく採算の改善には至りません。卸売業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

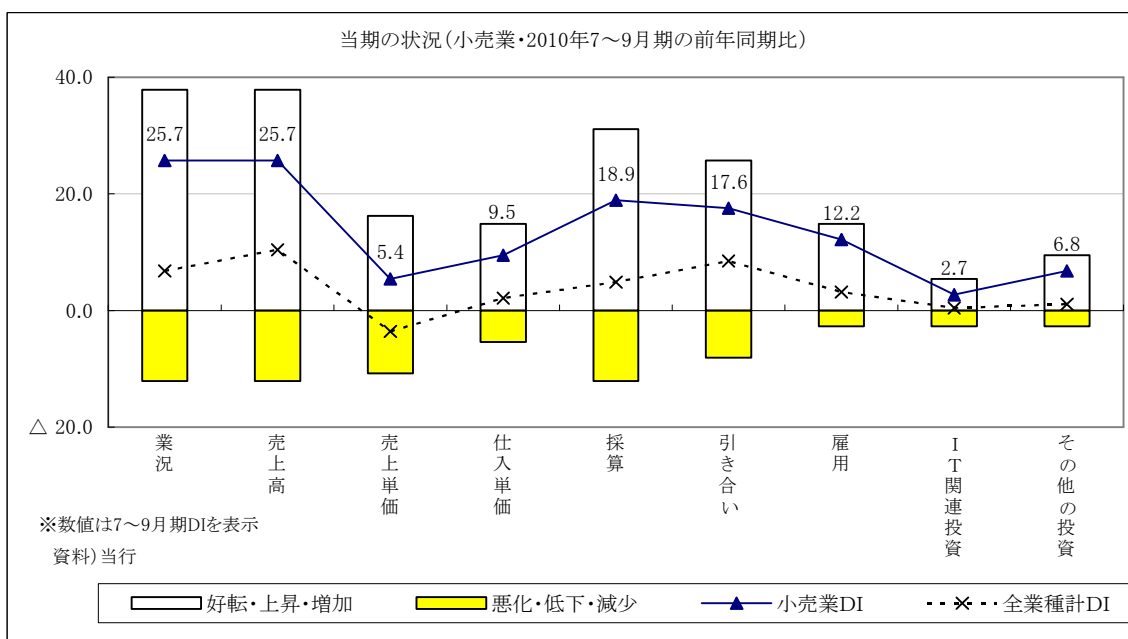
来期の見通しを見ると、他業種同様に建設関連における需要の増加や、エコポイントの延長、クリスマス・年末商戦の活発化など季節的な需要が期待できる時期であり売上高(11.8)、引き合い(10.6)の増加を見込みます。一方、10月からのタバコ価格の値上げを控え、値上げ前の大量仕入で採算好転を見込む動きもあります。卸売業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



6. 小売業

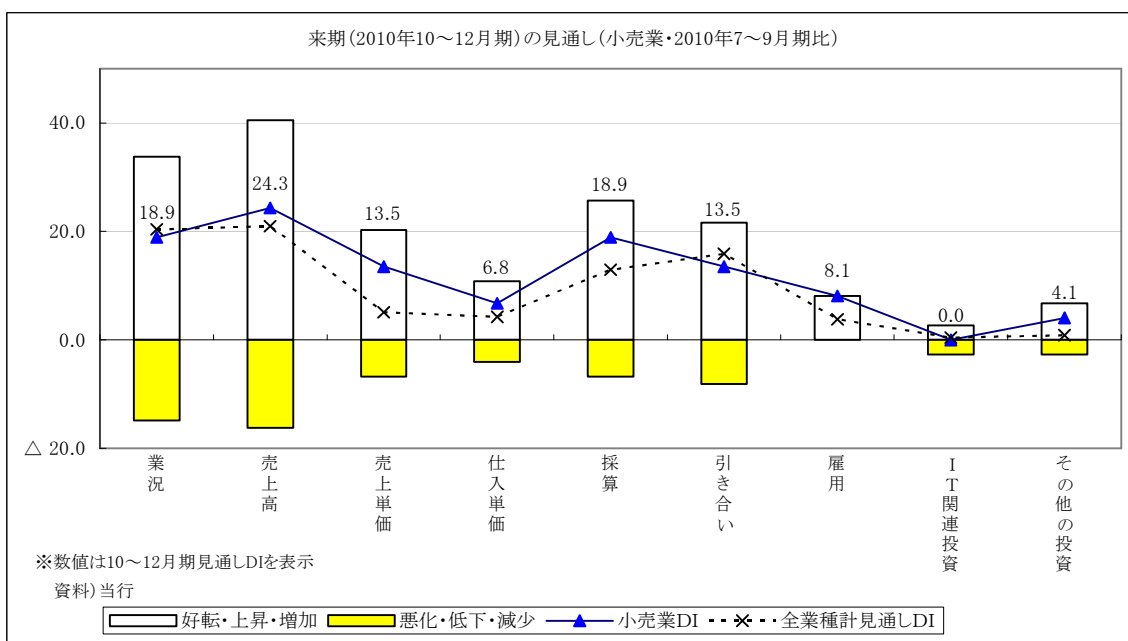
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

小売業DIを見ると、高級衣料品などは厳しい状況が続くものの、新規出店の動きや、エコカー補助金の終了、タバコ値上げ前の駆け込み需要、7月・8月に過去最高の入域観光客数を記録するなど高校総体開催を中心とした観光関連産業の賑わい、高速無料化開始に伴う給油機会の増加など、小売業全体では各方面において**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

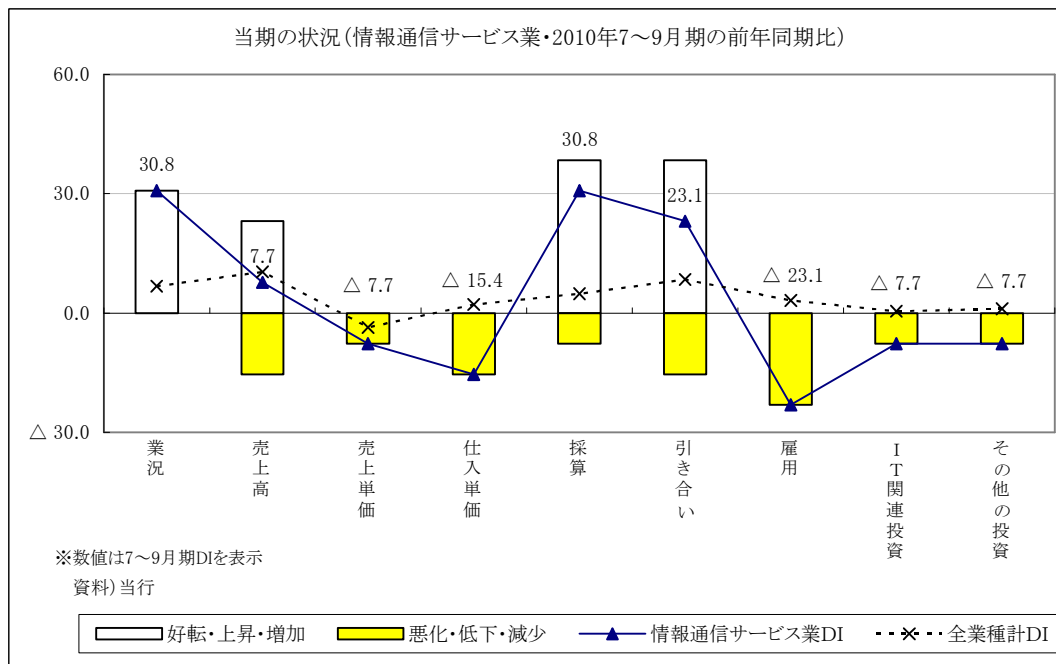
来期の見通し小売業DIを見ると、クリスマスやお歳暮などの年末商戦の時期であり食料品や冬物衣料・雑貨の需要増加を見込みます。また、エコカー補助金の終了により中古車業界は売上の回復が期待されます。観光関連では、円高による海外旅行との競合も予想されますが、観光需要の回復感から、引続き一定の需要が見込まれることから、小売業全体では**業況改善の動き**が見られます。



7. 情報通信サービス業

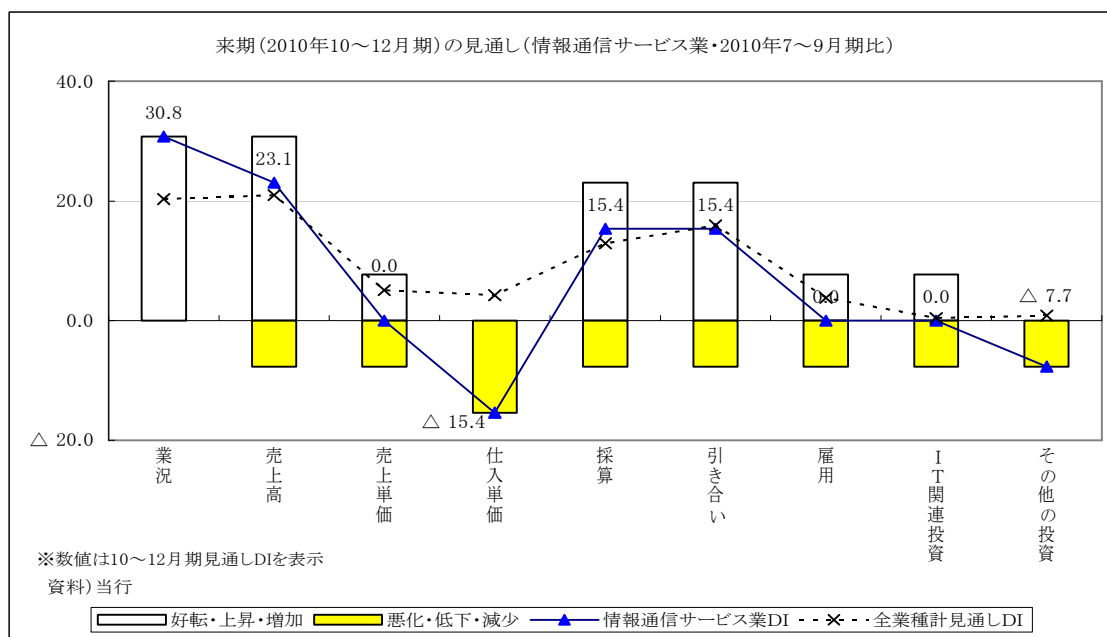
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

情報通信サービス業DIを見ると、地方公共団体や法人からの需要は徐々に回復感がみられます。また、新規開拓などの営業強化や顧客向けセミナーの開催など積極的な営業展開から引き合い(23.1)は増加傾向にあります。雇用(△23.1)やその他の投資(△7.7)はまだまだ増加には至らないものの、情報サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

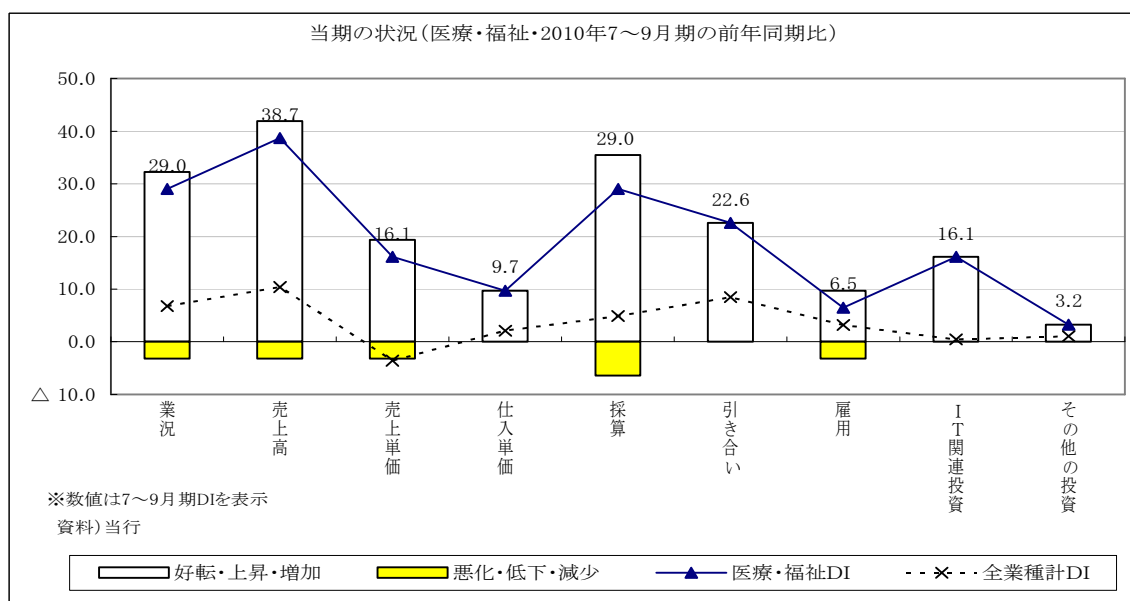
来期の見通しを見ると、業況(30.8)、売上高(23.1)、採算(15.4)、引き合い(15.4)と、公共・民間ともに引続き需要の増加を見込みます。しかしながら、その他の投資(△7.7)については弱さが続きます。情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



8. 医療・福祉

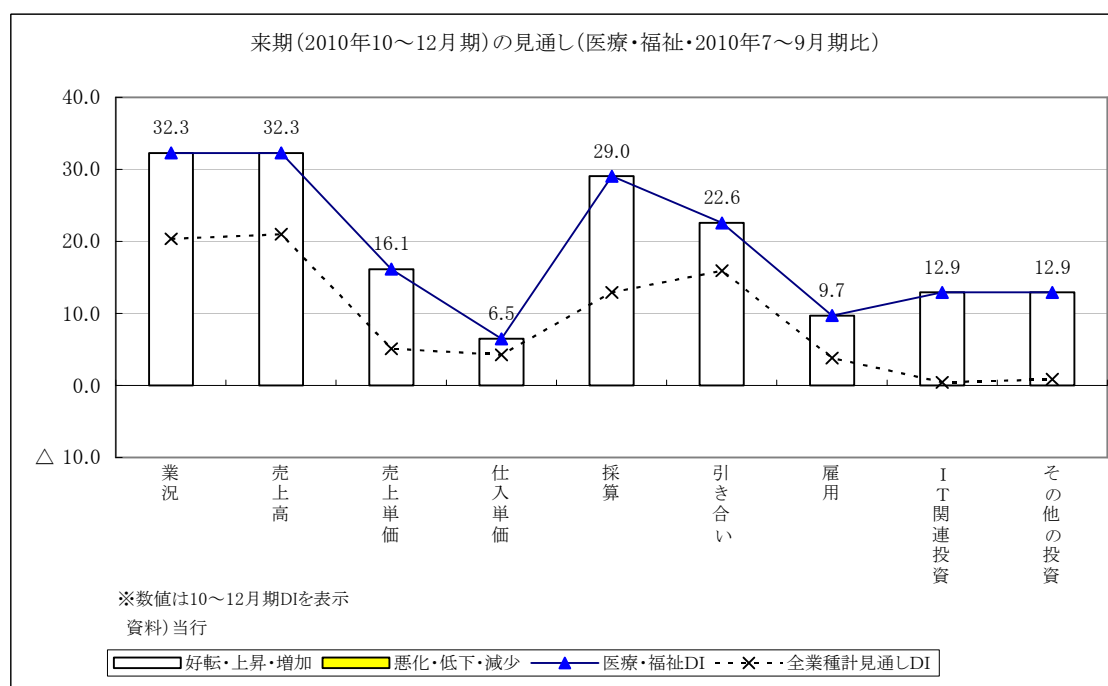
a. 当期の状況 (2010年7～9月期の前年同期比)

医療・福祉DIを見ると、外来患者数などは安定的に推移しており、売上高(38.7)、採算(29.0)、引き合い(22.6)等、業況は引続き好調に推移しています。また、介護施設との連携や高齢者専用賃貸住宅の新設など、事業の多角化の動きが継続的に見られます。雇用や設備投資関連も増加しており、医療・福祉全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

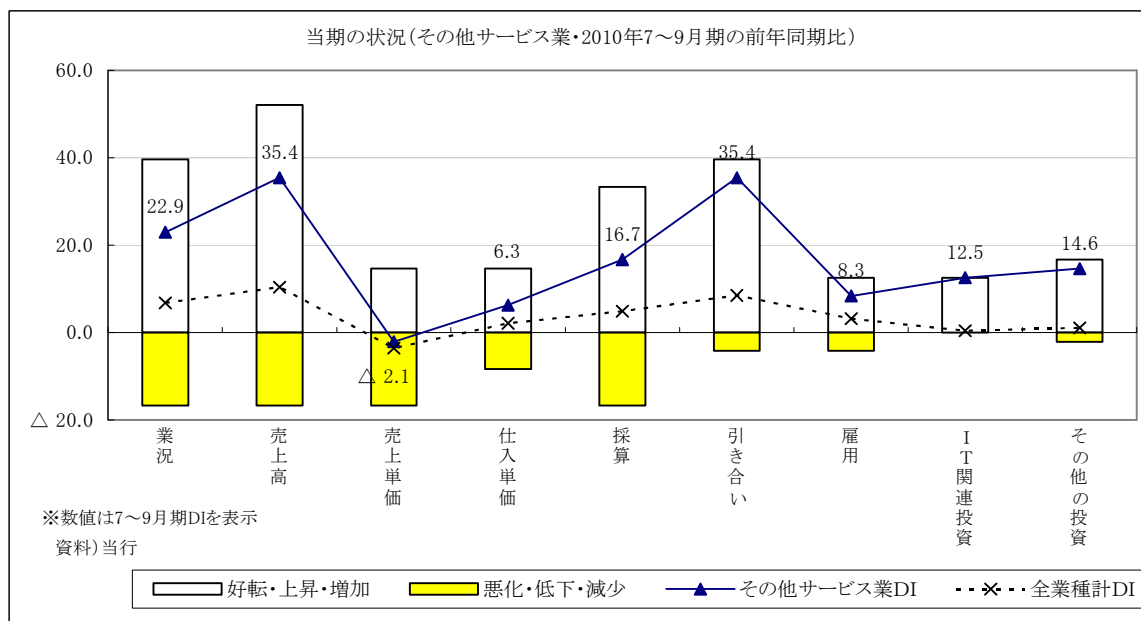
来期の見通し医療・福祉DIを見ると、引続き全体的に好調を維持することが見込まれます。老人介護施設などは定員制限があり、新たな施設の稼働などによる定員増加の動きが見られます。同時に、雇用やその他の投資なども増加を見込みます。医療・福祉全体として**業況改善の動き**が見られます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

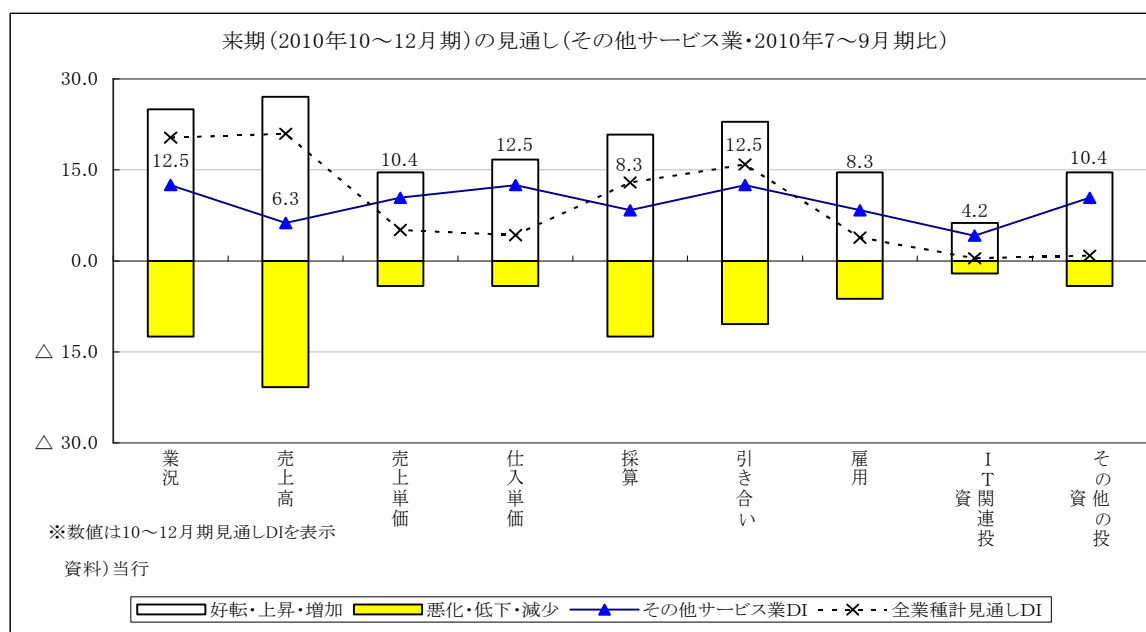
a. 当期の状況(2010年7～9月期の前年同期比)

その他サービス業DIを見ると、高校総体開催や昨年流行した新型インフルエンザの反動により県内宿泊施設は軒並み好転しています。その反面、ダイビング客の減少などの既存リピーターへの影響も見受けられます。県内旅行会社については発券手数料が減少するものの、興南高校の躍進による甲子園効果がありました。その他サービス業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し(2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

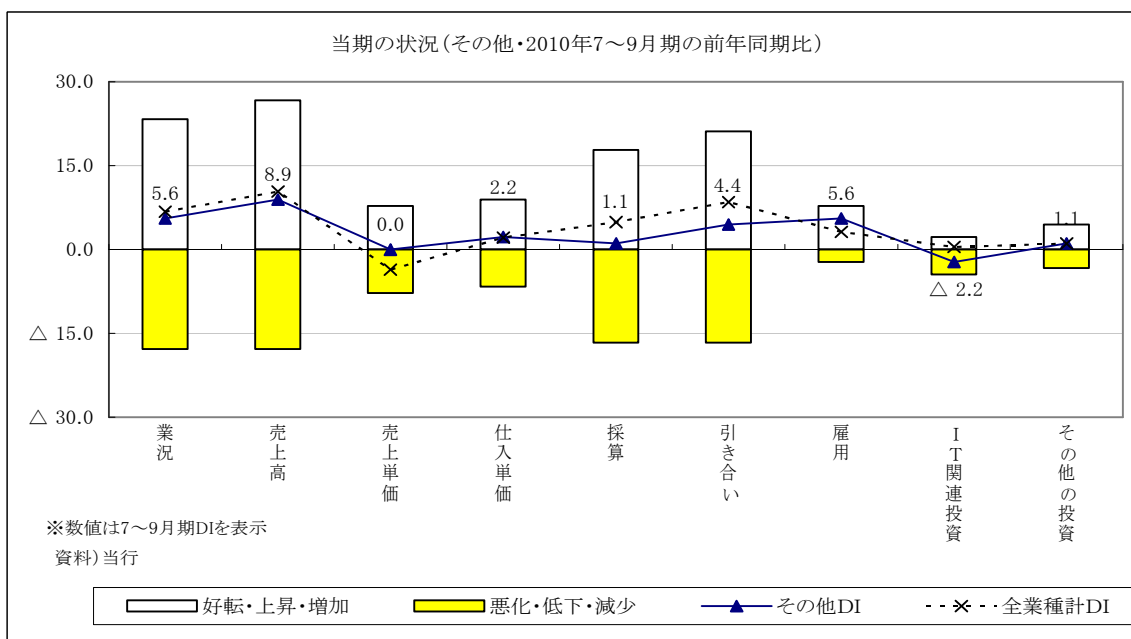
来期の見通しを見ると、夏場に比べると観光需要は若干減少が見込まれるものの、飲食店や遊技場、葬祭場、教育関連などにおいて、新規出店や新規開拓などの営業強化の取組、中国人を始めとした外国人観光客の増加への取組など、引続き一定の需要が期待されています。その他サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

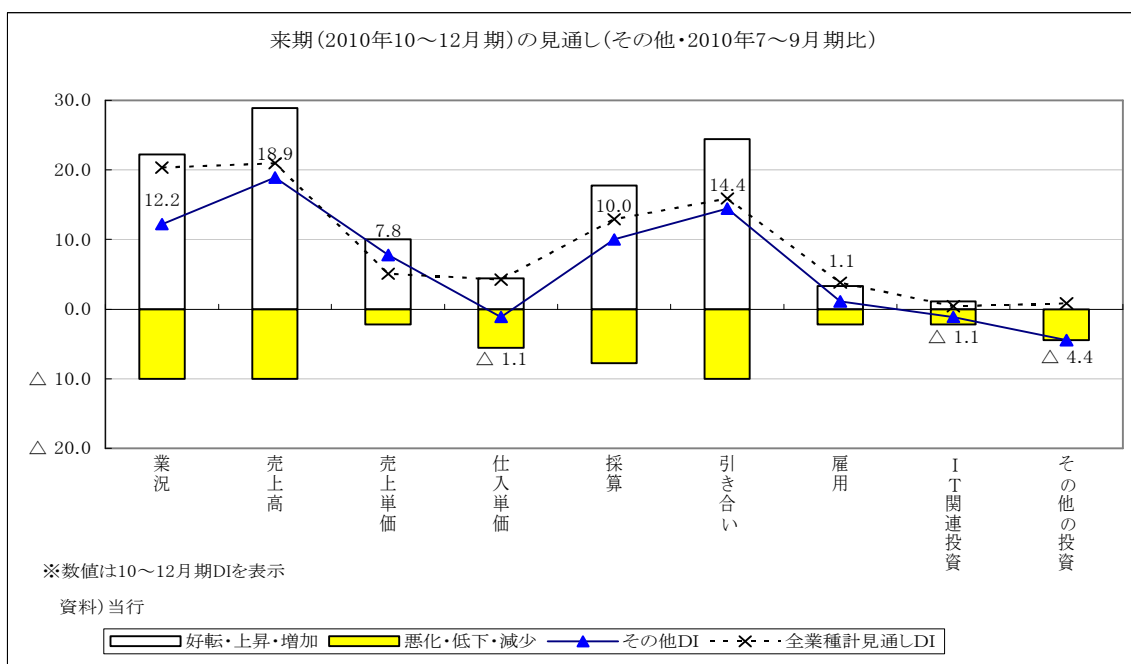
a.当期の状況(2010年7~9月期の前年同期比)

その他DIを見ると、公共工事の減少などから生コン配送などの建設関連輸送や建設コンサルタントなどの需要は減少傾向です。一方、高校総体の開催やエコポイント効果などから、個人客や貨物等の運輸業の需要は増加しています。不動産の動きについてはまだまだ弱いものの徐々に相談件数が増えています。その他全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b.来期の見通し(2010年10~12月期の2010年7~9月期比)

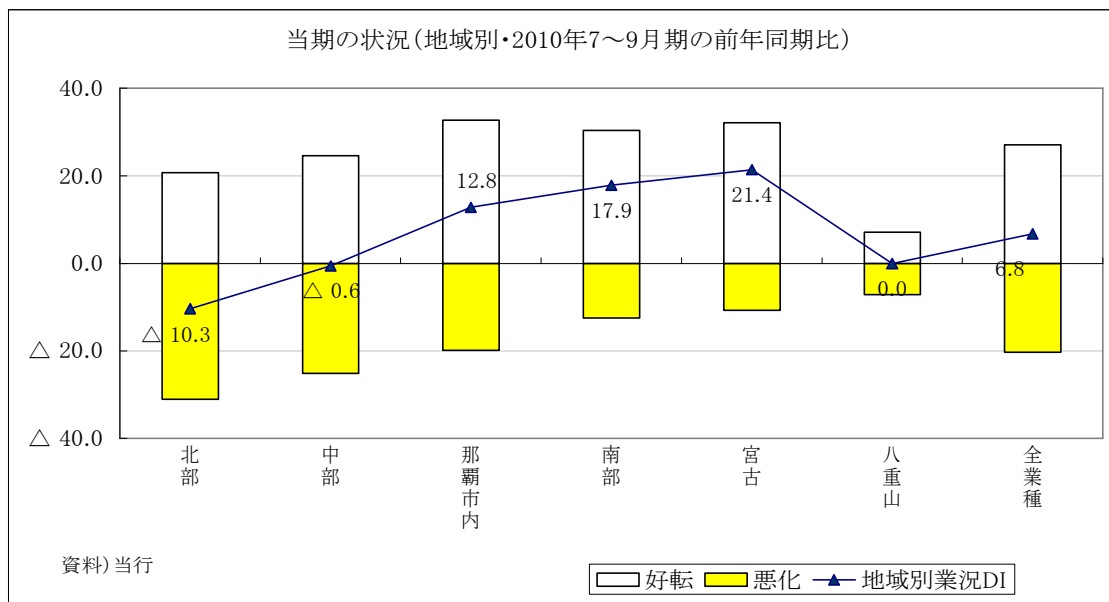
来期の見通しを見ると、夏場の反動減からレンタカー等の観光関連需要は減少が見込まれます。反対に、民間・公共工事の増加見込みから貨物輸送や、建設コンサルタント、工事現場の警備など建設関連産業の需要増加が見込まれます。不動産については軍用地関連の案件など需要が増加するものと見込まれています。その他全体としては**業況改善の動き**が見られます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

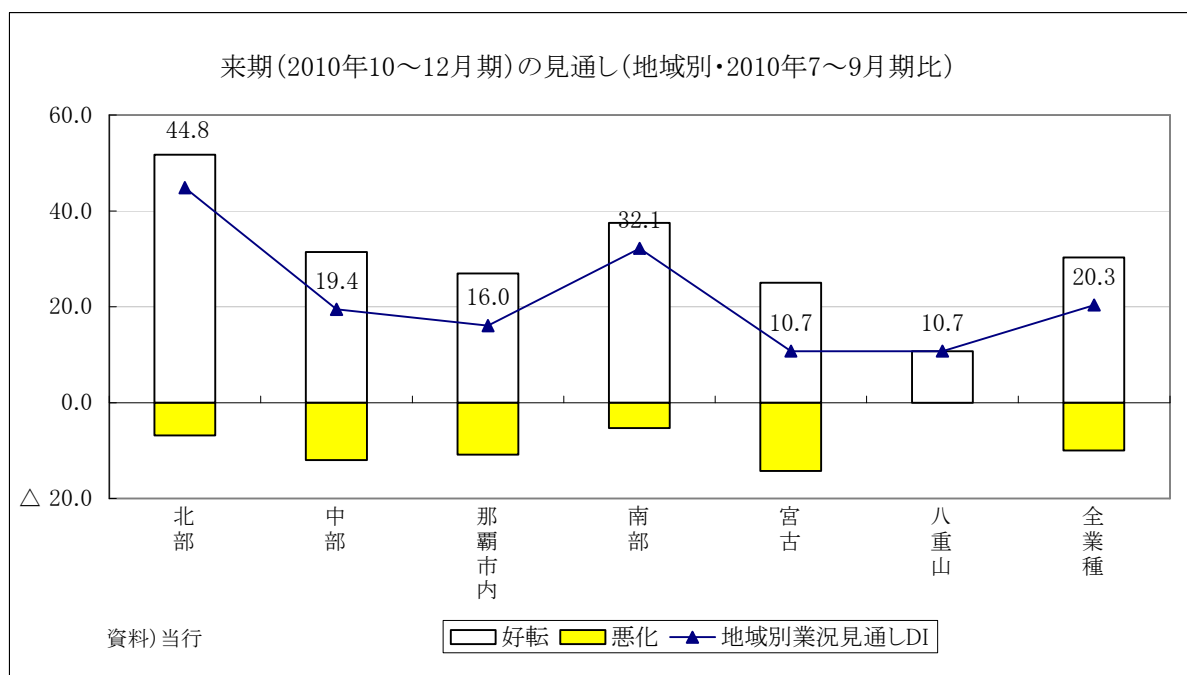
1. 当期の状況(2010年7～9月期の前年同期比)

地域別業況DIを見ると、那覇市内、南部、宮古で改善しています。一方、北部、中部は悪化、八重山は横ばいで推移しています。中北部は建設関連や運輸業のウェイトが高くなっています。宮古はサトウキビが豊作だったことによる関連産業が好調だったことなども寄与しました。南部は建設関連の一部や食品製造業において好調で、那覇市内は多様な業種が混在し、医療・福祉や観光関連(宿泊、土産等)で好調でした。



2. 来期の見通し(2010年10～12月期の2010年7～9月期比)

来期の業況見通しDIを見ると、県内各地において、夏場に比べて観光需要は減少するものの、建設需要の増加や、クリスマスやお歳暮等の年末商戦など季節的な需要増加が期待されています。全体として**改善の動き**が見込まれます。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2010年7～9月期）の業況DI調査の結果は6.8と多くの業種で業況改善の動きが見られました。
- ② 特に3万5千人超の選手・大会関係者が参加した「2010美ら島沖縄総体」の開催を中心に、7・8月は入域観光客数が過去最高の実績となるなど観光関連（宿泊、飲食、土産等）では、売上高、引き合い、採算等、各項目において好転しました。
- ③ また、お中元や旧盆などの季節的需要や、エコカー補助金の終了（9月7日付申請分で受付を終了）やタバコ値上げ（10月）前の駆け込み需要などから、小売業などにおいても好調に推移しました。
- ④ 一方で、製造業や土木業、建築業、卸売業、運輸業などの建設関連業種においては、アパート建築など民間工事に一部改善の動きはあるものの、公共工事の減少から、厳しい状況が続き、借入金の条件変更等も行われています。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2010年10～12月期）の見通しDIについては、観光関連は夏場のトップシーズンと比較すると若干弱含むものの、昨年続いた新型インフルエンザの影響と比較すると好調を維持すると見込みます。
- ② また、年度後半は公共工事が増加する時期であり、クリスマス・お歳暮等の年末商戦と併せ、各業種で業況改善の動きを見込みます。
- ③ 項目別においても、依然として、経費削減努力は継続的に行われているものの雇用やその他の投資なども改善の動きが見られます。

★2010年10～12月の主なイベント

日程	名称	参加予定
10/16(土)～10/17(日)	全国エイサー大会	未定
9月～11月	沖縄情報・通信月間(各種イベント開催予定)	延べ1,000人
10/30(土)～10/31(日)	APEC電気通信・情報産業大臣会合	内県外国外から200人
12/5(日)	第26回NAHAマラソン	25,000人(前回大会は約30,000人・内県外国外から12,000人)

(おきぎん経済研究所 研究員 上地良平)

